

雨の季節となりました。梅雨寒の日が続きましたが、間もなく蒸し蒸しとした夏が来ますね。救急車の入口には春先からツバメが子育てをされていて、今は2回目のヒナ達が餌を貰いに大きく口を開けています。（親がいないと、じっとしていないふりです）

さて、1年目研修医の先生たちと面談を概ね終わりました。あと一人だけ残ってしまいましたが、2年目研修医の間に行う予定です。

面談と言っても、「ちゃんとお飯食べてるかしら」「夜は眠れているかしら」というレベルの内容でして、医学的知識の深化や、診療技術の評価などは全くしていません。いえいえ、本当はこのような内容について日々指導医は目を光らせる必要があるのです。診察等の能力を評価するmini-CEXなどのツールもあり、それはまるで自動車学校の教習のようですが、当院では評価項目でハンコを貰わないと次の段階に進めないという訳ではありません。点滴3回失敗したら不合格とか、問診で大切なことを聞き落したら次の診療が許可されないとか、そのような形ではないのです。

上手な問診の進め方や針の進め方などは指導医から伝えられるものではありませんが、実のところなかなかそのような目線で伝える姿勢や体制が整いません。

「resident」という名前は住み込みの徒弟制研修の時代があったからこの名前ですものね。

せめて「疲れ果てて食事も摂れない」
「休みの日はひたすら寝ている」なんて
ことのないように目を光らせるように
しています。

釣りに行ったり、ゴルフに行ったりし
た人もいましたよ。



まあ、普通のアパートですね。住む棟によって揺れたり揺れなかったり。良い休日を。